

2020年7月20 日

令和元年度 校友会 活動実績報告

(剣道部) 部

顧問名 (武田 徹 ・ 山下 賢太)

活動方針 : 本部活動においては、一切の体罰・暴力を行いません。

東京都高等学校体育連盟剣道専門部の各東京都高等学校剣道大会で第七支部予選を通過し、都大会に出場することをめざす。

剣道を通して心身を鍛錬する。

自主的な部の運営と集団のなかでの行動の仕方を学ぶ。

活動報告(上記の活動方針を下に取り組んだ1年間の総括)

日々の活動の成果を見るものとして、東京都高体連の公式大会の支部予選を通過し、都大会に出場することをめざしている。今年度も部員数は少なく、二年生・三名、一年生・二名で活動したが、放課後の学習活動やけが・体調不良などで練習に参加できなくなる部員がいると、しっかりした活動・練習ができない状態になってしまい、そもそも、活動を中止せざるを得ないことも多くなり、活動すること自体がうまくいかないことも多かった。顧問(武田)の指導が至らないところも多々あった。支部予選を突破することも当然できなかった。

剣道を通して心身を鍛錬するという点も、顧問(武田)が生徒たちのやる気を維持させることができず、生徒は少人数であることに精神的に負けてしまい、気持ちを入れて活動を続け、積み重ねさせることができなかった。そのため年度当初と比べても、生徒の精神力・体力・剣道の技量はさほど高まっていない状態である。

少人数でありながら、日常の活動で部員同士の意思疎通を行うこと、部員同士で支え合うこと、活動を休む際などに顧問に伝えることや部員同士で伝えることなどがしっかりとできず、部活動の自主的な運営や集団での行動の仕方を学ぶという点でも生徒たちはまだまだその方法を身につけ、実行することができていない状態である。